■健康・福祉・防災の新たな拠点

（仮称）健康福祉センター整備計画について

町の健康福祉関係の行政機能・施設の集約に加え、災害時の新たな防災拠点として整備する「(仮称) 健康福祉センター」の建設事業については、昨年度から基本計画策定委員会を組織し、整備のための協議を重ね、３月に基本計画を策定しました。

基本計画では、各施設の老朽化や分散、町東側への防災拠点の必要性など、現在町が抱える課題を明らかにし、施設整備の目的を定めました。

今月号では、(仮称) 健康福祉センターを整備する目的や、目指す施設の在り方等についてご紹介します。

整備の目的① 分散化や老朽化している保健・福祉施設の集約・更新

築 58 年が経過し、老朽化している町保健センター

町では現在、子育て支援、障がい者支援、高齢者支援を実施している保健センターや、社会福祉協議会、地域包括支援センター、ボランティアセンター等が分散しており、さらにそれらの施設が老朽化している状況にあります。

住民サービス向上のため、保健・福祉施設の集約化と、公共施設の更新による施設整備が急務となっています。

整備の目的② 駅東側にもう一つの防災拠点を整備

町には、町内を東西に分けるＪＲ東北本線があり、踏切や高架橋により東西を横断する交通網が整備されています。

しかし、平成 23 年３月 11 日に発生した東日本大震災によって、主要な東西横断道路が被害を受け、災害支援物資の輸送や、町民の避難に支障をきたしました。

駅西側に位置する町庁舎や鏡石第一小学校を中心とした防災拠点のほかに、駅東側にも新たな防災拠点の整備が必要です。

東日本大震災の影響で、長期間通行止めとなった
県道成田鏡田線笠石跨線橋（平成 23 年８月撮影）

（仮称）健康福祉センターの基本計画概要

【目的】

地域で支え合う、人口減少対策としての子育て支援対策をはじめ、安全・安心の中で子どもから高齢者までが「笑顔で健康」に暮らせるまちづくりの拠点施設、また、あたたかみのある人にやさしいまちづくりに向けた施設づくりを目指します。

【目標】

- 町民が健康づくりに取り組みやすい施設整備
- 子育て世帯に寄り添う子育てしやすい施設整備
- 障がいの有無に関わらず生きがいのある生活を送ることができる施設整備
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるような地域共生社会を実現する施設整備
- 災害時には福祉避難所となる施設整備

（仮称）健康福祉センター

健康福祉関係の行政機能・施設

- 町の行政機能の一部
- 町社会福祉協議会
- 県社会福祉協議会生活自立サポートセンター県中事務所
- 町包括支援センター
- 町シルバー人材センター

町民の福祉と健康向上へ様々な設備

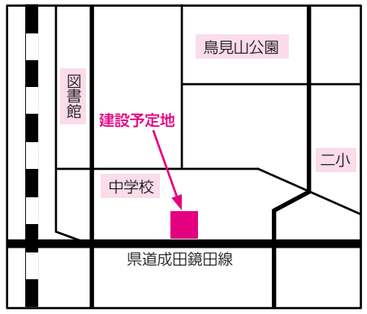
- 大小の多目的室
- 相談室
- 診察室（内科・歯科）
- 調理室
- キッズスペース

などを想定

福祉避難所機能

台風や地震等の災害発生時に、高齢者や介護が必要な要支援者の受け入れ対応が可能な福祉避難所としての機能

造成が進んでいる建設予定地
（駅東第１土地区画整理地内）



建設予定地 造成中です

建設位置は駅東第１土地区画整理地内とし、建築面積は 2,500㎡程度、総事業費は概算で 12 億円程度を想定しています。

今年度は新たに事業委員会を立ち上げ、委員のご意見をいただきながら、基本・実施設計を行い、来年度の工事着手に向け事業を推進していきます。

●問い合わせ先　福祉こども課　☎62-2210